（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	きらめき広場

公表日　R8年　3月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	6	個別で活動をする時は部屋を使っている。	児童が年齢を重ねて大きくなってきている為事業所が狭くなっている。もう少し個別の部屋がほしい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	マンターマンで関われる時間を取る事が出来ている。	職員に言い疲みがおきと職員の人数が難しくなる時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切に行われているか。		7	雨で滑らないように玄関周辺に滑り止めのテープを貼って事故を防いでいる。	生活連絡ボードこの空間にあるので落ち着かない。椅子やテーブルを年齢に合わわせた方が良い。死角になる事もある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に応じた空間となっているか。	3	4	袋け入れ時児童が混乱した場表排除を行っている。その日に活躍行出来ない日付は次の日の朝にお子表排を行っている。 幅社やおちらしがあった場合はすぐに活排をしている。	お昼らしを支援的にする児童がいる為活室ではいと思う。活動をするスペースとしてはせまい。児童の成長と共に十分なスペースが必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の相談や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	児童の希望で個室が使えるようにしている。	個室を使っている場合の児童がお着替えをしたい時に職員が使っている部屋を使わらざるおえない。あと1部屋欲しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	事業所会議を1振り返りを行う。会議はお昼っ端日と時間を設定している。	振り返りを行う事が少ない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けてあり、その内容を業務改善につなげているか。	7		年度末に振り返りを行っている。	今後も継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的な事業を会議を次こなった1日その中に感ケントを記入し共有をしている。	今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	今後は外部評価をして頂けるようにしていく。	外部評価を行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	社内での研修動画や外部研修を受講出来るようになっている。	社内の研修動画をあまり見れていない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		毎月保護者へ活動プログラムを配布している。児童に向わせてプログラムを作成している。	今後も継続していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こども と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		計画書の評価や児童についての話し合いを事業所内で定期的に行い計画書を作成する事が出来ている。 モニタリング等で保護者からのニーズを聞き取っている。	今後も継続していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児発管以外の職員も一緒に目標等の設定を行っている。 どのように遺成出来るかを話で考えている。	今後も継続していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	7		計画書を作成後共有し支援の元にする事が出来ている。 活動室を出す時に誰を対象にしたいかを絞っている。	今後も継続していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などに基づくインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	幅記出来ている。	よくわからない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのとて、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3	個別支援計画に設定されており支援内容に反映されています。	よくわからない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		他職員と協力して決められた表の活動を決めている。1人2組～5組の室。 職員全員でプログラムを考えている。	今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		5領域を意識したプログラム設定が出来ている。 動画等を参考にし工夫を行っている。 他の職員や他の月と表まり被らないように工夫している。	今後も継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・ルームの状況を話し合いニーズに応じて支援を行っている。 他児童と関わらない児童がどのようにしたら一緒に活動が出来るかを考えている。	今後も継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼や昼礼を行って その日の流れ等を確認している。 リーダーを中心にやっています。	今後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後毎日行っている。 支援終了後に朝礼を行い気づいた事や保護者からの申し送りを行っている。	今後も継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日報を記録し必要に応じて支援に関する話し合いを行っている。 支援ノートに気づいた事や伝えたい事を記入している。	今後も継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		モニタリングで話し合った事を共有し今後の支援方法を考えている。	今後も継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を横断的み合わせて支援を行っているか。	7		毎月の活動案に基とし応わ事で支援に反映する事が出来ている。	今後も継続していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育て るための支援を行っているか。	7		支援中に選択肢を与える場をを作っている。 自由度大の際に何をして遊びたいかを聞き好きな遊び方をしてもらっている。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を正く理解した者が参画しているか。	7		児発管や必要な場合はその他の専門職員や職員も参加している。	今後も継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		定期的にモニタリング会議等で情報交換等を行っている。	今後も継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		わからない時は学校等に連絡等して確認している。 手紙やC回・スクリレで情報を共有している。 年間計画や月間予定表をプリント し行事や甲下校等を参考にしている。	今後も継続していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		たしヤやモニタリングで情報共有をしている。	今後も継続していく。
	30	学校を中心に、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等をしているか。	4	3	移行児童はがん時在ではいない。	対象児童がいない為わからない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	4	必要の際にアドバイザーから助言をいただいている。	児童発達支援センターがわからない。 連携していない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	最近児童館には行っていないが公園等で地域の子と関わっている。	児童館との交流が少ないので増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	開催日が会えば参加したい	参加しているかわからない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		日々の送迎時の伸し送り や連絡帳・ライン等で情報交換を行っている。	今後も継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	送迎対行行っている家族支援プログラムは個別であれば実行している。	事業所が増える家族支援プログラムは行っていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		プログラムの説明をしたり負担額が上がれば連絡している。	今後も継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		作成する前に計画相談員のサービス等利用計画を基に個別支援計画書を作成している。	今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7		説明し一緒に確認し同意を頂いています。	保護者や計画相談員からの変更があればその都度変更しています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		悩み事があればいつでも相談して下さい。と日頃から声掛けをしている。	今後も継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい児と士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1	家庭同内で行うイベントを年に創回行う事で保護者会が出来ている。 保護者同士の交流の場を設けています。	保護者会が出来ていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	苦情が出た場合はすぐに上司に連絡をして対応している。 苦情があった際に全職員に共有し話し合い適切に対応している。	苦情対応が遅かった。
	42	定期的に連絡等を実行することや、HP・SNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	その日の活動の様子等をLINEで送るようにしている。（余裕がある時）	発信出来ていないので今後実施したい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個別のファイル等は鍵付きBOXに保管している。	今後も継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		それぞれに合った方法で情報伝達を行う事が出来ている。	今後も継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	学校の先生をまねいている。	事業所の行事が出来ていない。 地域との連携がほかれていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	小規回だが実施出来ている。	訓練をあまりていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	年年に1回程行っている。 避難訓練を行っている。	今後も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		幅記後共有し必要に応じて情報を提示している。 てんかん持ちの児童がいる為薬入れに発作を起こした時の対応の仕方を入れている。	今後も継続していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	食事を注文する際に「○○アレ」と目表注文時に入力してアレルギーの対応をしている。	今後も継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されて安全確保が行われているか。	6	1	安全運転の研修や動画視聴をして安全に過ごせるように支援している。	今後も継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、事故等との遭遇が弱められるよう、安全計画に基づく取組内容について、事故等へ周知しているか 。	6	1	児童の安全確保は出来ている。	ご家族へ周知出来ていないので周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		幅記を共有し対応策を皆で話し合い再発防止に努めている。	今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修動画等で学んでいる。 虐待防止の研修や話し合いを行い対策している。	今後も継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		記載している。	身体拘束等がおきないように児童の支援に努めます。